平成27年4月30日

第133号

関東の恣認から



.....

関東森林管理局

前橋市岩神町4-16-25 TEL 027-210-1158

http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/



ナラ枯れ防除事業(おとり丸太、くん蒸処理) (群馬県みなかみ町) (撮影:利根沼田森林管理署 業務グループ)

公益重視の管理経営と地域の森林・林業の再生

~平成27年度関東森林管理局重点取組事項~

総務企画部 企画調整課

公益重視の管理経営と地 域 の森林 • 林業の再生」

成27年度 関 東森林管理局重 | 点取

企画 企画 調整課

公益重視の管理経営 東森林管理 局

計画 を旨として、 地 的 域の森林・ カゝ 効率的な事業運営を 民有林と連携しつつ、 林業再生 \mathcal{O} 貢 献

資源を活かし、国 造林、 間伐等 玉 \mathcal{O} 有 コ 林 ス 0 1 組 縮 織、 減 Þ 技 路 術 万 網

木材の安定供

ため、局、署等が一体となって1など地域の森林・林業の課題解 組みます。 また、 東日本大震災 から \mathcal{O} 復 取 決

ŋ 0

復興に向けた貢献として、 旧

適切に整備されている森林

どにも全力で取り組みます。 森林除染や仮置場の提供 被災地における林業再生対 海岸防災林の早期復旧 策

の管 理 経営の

益的機能の維持増進を旨として、暖化の防止、生物多様性の保全等 《率的な実施、保護林制度』整備事業や治山事業の計1 国有林で は、 国土 保護林制度による 様の 性保 1の保全等が保全、地球に 画的 か つ森公温

会等に積極的に参画し、

個体数管理地域の協議

野生鳥獣対策として、)生物多様性の保全

を含む総合的なシカ対策を実施する

引き続き国有林内にモデ

にな森林 公益林とし 生態 て適切な管理経営を 系 \mathcal{O} 保 全などを通じ

います。 計画的な森林整備

保、主伐及びでき、適切なさせるため、 ·的な施業の実施に必要な路網の·的な更新等に努めるとともに、 森林の多面 主伐及びその後の計画対策として必要な間伐 な更新等に努めるとともに、 進します。 適切な施業を推 地域管理経 的 機能を持続的 進し、 記画的かつ 関伐面積ので 営計 に、 かかの確吸基準



荒廃山地の復旧整備



ヘリによる災害調査





鳥獣被害対策高度化実証事業による捕獲 (日光森林管理署管内奥日光国有林)

とともに、 Þ る外来種駆除対策の保全・管理対策 \mathcal{O} 緑の回廊の保全・ 充実を図ります。 産に登録さ 証 地 等を行 域を設力 います。 保護林 保護林制度の見 1 定 · の 拡 れた小笠原 ま 充等に 管理を推 さらに、 向 諸 け 直 島 た検討を踏 品におけ 進する 保護林 自

策や既存施設の長寿命化を推進しま林の整備等による緑の国土強靱化対荒廃危険山地の復旧整備、海岸防災等の防止・軽減のため、荒廃山地や集中豪雨・地震等による山地災害



フの

林業再 向 け た貢

定 有

、資するよう取り組みます。 での管理経営や民有林の普及

普及

からの復

旧

野

スト 等業原向に 援供事提低実をけ

の 推進 森林共同 森林共同 有林と連 隣接する民有林等と一 維持増進協定制 同 施業団 地 の設定 た森林 度の活 一体となっ 公益

ついて、一部の旧採種園の再整備を造林意欲が高まっているカラマツにな種子の確保に資するため、近年、ます。また、苗木の安定供給に必要ます。また、苗木の安定供給に必要

合の林産物の供給調整地域の木材需給が急激

の増

L

討対減

頭

国有林材供給調

検

森林総合監理士育成研修事業における 実践研修 (利根沼田森林管理署)

ます。また、新たに民有林の持続的・計画的な供給に給動向を的確に把握しつつを開催するなど地域の木材

取り組む 株と連

取

木材価に

連り林格委員を携組産や員を

育成のため イ育将 1 又援するとともに-ルドの提供等な ドた \otimes オ \mathcal{O} レ 供研 ス ついての連 公等を タ 通 国じの 補となる者 取り組み林性題林を取り組みを表情的な職様を表情を表情がある。 師 派遣、



実証試験 (天竜森林管理署管内)

の低コスト化と民 に推進するため、主伐及びその後に係る森林吸収源 有林 後 源 の

森林共同施業団地の設定による

搬出路の共有(群馬県三俣地区)

の有 再 策地 として、 低林造 球 マスト化等に向 経営への普及を を積極的に地 に地に で、今後、、 寺に向けた技術開発普及を念頭にした林 その が成果を

民の対

しみ物需会たまの給を おおります。

立木販売によるシステム販売 22~26年生の若齢林の初回間伐 →バイオマス燃料



地元幼稚園児参加による植栽 (松川浦海岸防災林)

架線系一貫作業システムの

○海岸防災林の復旧・再生 の海岸防災林の復旧に向けて、樹木の の海岸防災林の復旧・再生) 等 の 協力も得ながら植 を実 に、生海 生海 N 育 岸 P基防

すに置早れ所取性の ま望設のさ電の射へ

します。

森林・林業に関する情報・サービスの充実、国有林モニター会議の開催、一層推進するため、局ホームページー理経営や国民視点に立った行政を

森林除染への貢献

村等との連携による放射性物質に対関する知見の集積や技術開発、市町証事業を通じた森林における除染に除去等を着実に進めるとともに、実体は民等周辺の国有林における落葉 関 証除 た林業再生対策等を実施します。



落葉・枝葉等の除去作業

※



総務企画部長

高性能林業機械の 説明を聞く国有林モニター

森りかき

和ずまさ

営に活かすための制度。 るとともに、 関心のある国民へ幅広く情報を提供す を通じて頂いた意見・要望等を管理経 募により選定。 国有林モニターとは、 アンケートや意見交換等 モニターは公 国有林野に

な お、 本稿の 内容に ては、

(http://www.rinya.maff.go.jp 関東森林管理尾ℓ√ h+ml) 東森林管理局のホー

かれた「国民の森林」としての

「国民の森林」としての管理

にも掲 各種施策の詳細については、] ジもご確認ください。 載 しています。 同 ホ



略 歴

平 平 平 平 昭 出 成 成 成 成 和 18 16 14 12 59 • • • • • • 身 4 8 4 4 高知営林局川崎営林署採用 愛媛県

関東局大間々事務所長

同局総務部職員厚生課長 同局企画調整室監査官

林野庁国有林野部業務課 企画官

平 平 成 成 22 20 • 4 課長補佐(水源地治山指導班担当) 8 林野庁林政部林政課 林野庁森林整備部治山課

平 成成 27 25 • 9 4 関東局総務企画部長 九州局総務企画部長

課長補佐(人事第一班担当)

関東森林管理局課長等

(関東局森林整備課:)総務課長 功吉

(関東局森林軟○保全課長 ○
本野庁経営企 小整備部企画: 生 画 課 経営計 官方 画官健 啓

太郎

司

幹部の紹介

4月1日付け

は前職

佐岡 雅 人

○森林整備課具 課長 山 内 健二

長

課 課長

補

○資源活用課品 産長 業 課 課 長内 補海 和 徳

▽小笠原諸島森林生態系保全センター (環境省公園事業専門官)

▽森林放射性物質汚染対策センター所長 (林野庁業務課課長補佐) 浩明

▽大井川治山センター所長 (関東局企画調整課監査官)、大井川治山センター所長 神林

森林管理署長等

(埼玉森林管理事務所長) ▽福島森林管理署白河支署長 憲

(関東局総務課長) ▽会津森林管理署長 樋 口 雄

○田田局業務管理官 上 康

木 鉄 哉

(林野庁整備課課長
▽塩那森林管理署長 補 佐高

(九州局大分西部森林管理署長)▽吾妻森林管理署長 入口 了 ∇ (会津森林管理署長) 飯塚 充由

(福島森林管理署白河支署長) ▽下越森林管理署村上支署長 (近畿中国局三重森林管理署長)▽上越森林管理署長 澤山 秀尚

(下越森林管理署村上支署長)○埼玉森林管理事務所長

制対策専門官) (食料産業局産業連携課海外輸入規 ▽山梨森林管理事務所長

> ▽中越森林管理署 大ぉぉぃ

塩那森林管理署 溝ぞれ 麻[‡] 比小

 ∇

東京神奈川森林管理署 土っ 屋ゃ 裕ぅ 樹き

慎

 ∇

▽下越森林管理署 竹^たけうち 夏^{なっき}

未³ 来<

▽福島森林管理署

木^きぐ 口ち

_{たかいろ}

(後列右から)

 \vee 下越森林管理署

▽茨城森林管理署 日浦ら 祐 介 け

佐き 勝っ 未^¾ 来〈

▽会津森林管理署 小ご **澤**ざ 茉* 弥* <u></u>かず

輝き

▽会津森林管理署

都と

甲肓

▽磐城森林管理署 齊膝とう

健太郎

石いしはら 佳^か 奈な

 ∇

静岡森林管理署

荻ぎわら かたる

吾妻森林管理署

 ∇

▽日光森林管理署 大澤おきお 宏さらし

▽会津森林管理署南会津支署 土っっ 屋ゃ 知出出

利根沼田森林管理署 板たたれ 芳^ょしき

 \bigvee

▽福島森林管理署白河支署 藤 本 と 康が見る

▽山梨森林管理事務所 青ぉ 木き ゅ 寛^たか

森り 成って

▽棚倉森林管理署 ▽下越森林管理署村上支署 波_{みひら} 開かれ

ナラ枯れ防?

お

群馬県みなかみ町)

です。 平成22年に発生が確認され、利根沼 ラ枯れ防除事業に努めているところ 群馬県等と連携し平成22年度よりナ 田森林管理署では、森林総合研究所、 することがあります。群馬県内では シによって病原菌が媒介される樹 病気であり、ナラ類が大量に枯損 ナラ枯れは、 カシノナガキクイ 木

平成26年度は被害木を確認できませ 被害木発生が確認されてきましたが んでした。 群馬県内では平成25年度まで毎

蒸処理」で駆除することにより、 組みを行っています。 ラ枯れ被害が拡散しないような取 ナガキクイムシをおびき寄せ「くん にフェロモン剤を取り付け、カシノ 方法で、はい積みした丸太(ナラ類) 写真は「おとり丸太」による防除 ナ



平成27年度新規採用者

を終え、

配属された新規採用者20名です。

4月20日からの局での新採用研修

それぞれ所属先で社会人と

今年度4月1日に各森林管理署等

新規採用者の紹介

してスター

トしました。

▽群馬森林管理署 (前列右から)

早^{はやかわ} 愛り

平

成 26 ⋾年 森度 東 管 術理 等交流発表会」 を 開

林整備部 技術普及課

えし、

査

11

ただきま

林室 20 業に日 日関 技術 おの 東 い両 森 て、 月 等 林 交流 管 第 60 理 関東森林管理局 局 発表会を開催 口 で [目となる森林・ は、 2 月 大会議 L 19 ま 日

ことにより、 資するとともに、 究成果等を多くの 民有林における技術の 組によって得ら 本 与することを目的として、 しているものです。 発 表会は、 国有林野 れた新たな技 地 地域林業の 関係者が共有 域 普及・ 0 \mathcal{O} M業の再生に 晋及・定着に の管理経営や 試 行 術的 毎 する研取 年



設について」

作

=業道の

簡易で と題し

たりたり、耐行性の大力を対した。

挨拶する志田局長

部谷林 部生命研究科の白石教谷本名誉教授、東京大杯科学園の吉丸園長、杯科学園の 興協 研究科の白石教授、栃木県林誉教授、東京大学大学院農学園の吉丸園長、宇都宮大学の 会の 福 田 女性部会長を 総合研究 所多摩森 お

り

校

7

務や学業で多忙の中、

平成27年4月30日

テ ィア団体、木…
「直毛林野職員だけでなく、

質問をする審査員と受け答えする発表者 のある作設にく

まし 生等 取 学校などが現場レベルで連携した。これは、国有林と関係 り が参 組 んできた技術交流 加 Ļ 22 課 題 の発 の成果が 表が 機 あ

: が あ 別

講

演

ŋ,

1 後、

大面積人工林における新んでいる「富士山山麓の 映さ に 管理 0 今 7 口 署が ての における新たな森林施士山山麓のヒノキー斉が一丸となって取り組は、特別発表として静 と思わ 発表も行 わ ま れ ました。

審



静岡署職員による特別発表



特別講演(奥谷由行氏)

 \mathcal{O}

方

が

口

関係

いずれの発表も日常の後、吉丸審査員長から 情熱を持 5 \mathcal{O} 業講 関心が深まることを期待し、わる方々以外にまで森林・林寺後も、本発表会を通じ、林者の皆様に御礼申しあげると 研 出の る 究成果の普及に努めてまいります。 心が深まることを期待し、 の皆様に御礼申しあげるとともに、 ベ 参 482人を数え、立ち見 回 ほどの盛況ぶりでした。 加 者は、 発表いただいた皆様及び 2日間で前 回を上 林業へ 林業に

 \mathcal{O} 携 した。 容た積 こであ 成 極 果をまとめあげた素晴らし 的 0 に たと高い評価を 諸課題に 取 り組 *(* \ ただきまいただきまれ、得られ

別賞1 特筆に 藤雅志さんの発表が選ばれたことは、 秀賞には、 県立 査 題、 値します。 農林大学校奥田未来さん、 課題です。最優秀賞には、 \mathcal{O} 結 黒は、 茨城県立大子清流高 優秀賞8課題、 別表に示す最 審 校 員 優静 特 秀

畄



テクニクス前橋支店長の奥谷· 2日目の午後には、株式会

熱気あふれる発表会場

平成26年度 関東森林管理局森林・林業技術等交流発表会の発表課題と受賞者

平成27年2月19日~20日

技術普及課

	平成2/年2月	10A 20A			<u> 技術普及誄</u>
発表 番号	所属	発表課題	発表者	共同発表者	受賞
1	森林技術・支援センター	受光伐を2回実施したヒノキ複層林の下木成 長と被害	業務係長 須崎智応	森林技術専門官 安藤博之	
2	資源活用課	低質材の需要に対する供給に向けた取組事 例について	素材供給係長 杉山浩史		優秀賞
3	森林技術・支援センター	大北川支川渓畔のスギ人工林に混交した高 木性広葉樹の萌芽特性	森林技術専門官 安藤博之	業務係長 須崎智応	
4	赤谷森林ふれあい 推進センター	ニホンジカ被害の『未然防止型対策』の検討 と実践	自然再生指導官 藤木久司	(株)群馬野生動物事務所 代表取締役 春山明子	
5	技術普及課	大江湿原におけるシカ被害防止柵設置に伴 う植生調査報告	企画官 星野良二	(株)エス・アイ・エイ 淵脇智博	
6	静岡森林管理署 (特別発表)	富士山山麓のヒノキー斉大面積人工林における新たな森林施業	上井出森林事務所 神長宏和	佐野守、佐古瑶子、宮内基 好、長野祐介、安井一太	審査員 特別賞
7	茨城森林管理署	測量製図ソフトの開発(さらなる普及を目指した改良と簡便さの追求)	総括事務管理官 大蔵正則		優秀賞
8	群馬県 林業試験場	ぐんま型木製ガードレールの開発と施工後4 年目までの状況	木材係長 町田初男		優秀賞
9	天竜森林管理署	公益的機能維持増進協定による森林整備 の推進について	森林技術指導官 山部礼治	静岡県天竜農林局 森林整備課長 佐野信幸	優秀賞
10	塩那森林管理署	那須街道アカマツ林の保全について	治山技術官 小林剛	笠井富夫、髙栁修延	
11	静岡県立農林大学 校林業分校	静岡県における斜め張りネット柵によるシカ 防除柵設置省力化の試み	林業学科2年 奥田未来		最優秀賞
12	静岡県立天竜高校	次世代の森を創造する天竜高等学校	農業科2年 向中野麗奈、 農業科2年 石山珠緒		
13	静岡県 西部農林事務所	天竜管内における原木流通と販売戦略の一 考察	天竜農林局森林整備課 技師 清水太一		
14	高尾森林ふれあい 推進センター	高尾山における森林環境教育の協働事例	日比容子	フォレストサポート・高尾 代表 渡部三郎 事務局長 秋山嘉男	
15	治山課 (中越森林管理署)	「中越地区直轄地すべり防止事業」10年間 の成果	小栁勝志		優秀賞
16	伊豆森林管理署	伊豆地域におけるシカ防護柵の設置効果の 検証について	狩野森林事務所 山下綾香	森林技術指導官 山田 徹	
17	群馬県 桐生森林事務所	クマハギ被害対策への取組みについて	林業緑化係長 深澤裕司		
18	森林農地整備セン ター関東整備局	クマによる樹皮剥ぎ防除対策の進め方につ いて	造林係 早坂崚		
19	群馬県立 農林大学校	ツキ/ワグマによる皮剥ぎ被害の傾向	森林・環境コース2年 佐藤 侑		
20	小笠原諸島森林生 態系保全センター	「世界自然遺産・小笠原諸島における外来 植物種対策」森林生態系の効率的な修復事 例〜種特性と階層構造を考慮した施業〜	生態系管理指導官 藤田富二	(一社)日本森林技術協会 園田満憲	優秀賞
21	保全課	簡易チェックシートを用いたニホンジカ影響 調査結果	保護係長 坂本朋美	(一社)日本森林技術協会 関根亨	優秀賞
22	茨城県立 大子清流高校	地域の林産物を支える方々と出会って 〜大子町の漆掻き体験を通して〜	森林科学科2年 後藤雅志		優秀賞

管内のいちおしスポット



谷川島と 一儿倉沢

■ 利根沼田森林管理署 http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/tone_numata/index.html 〒378-0018 群馬県沼田市鍛冶町3923-1

TEL: 0278-24-5535(代表) FAX: 0278-24-5562

群馬県みなかみ町の北西部、太平洋と日本海の分水嶺をな す三国山脈に位置する谷川岳は日本百名山の一つに数えられ ており、谷川岳ロープウェイで標高1300m付近の天神平まで 到達できるため、山体が間近に迫り初中級クラスの山として 近年の登山ブームもあり、咲き誇る高山植物や錦に染まる山 肌などを求めて毎年多くの登山者で賑わっています。ただし、 天候が急変することもありますので、十分な登山装備の準備 が必要です。

ちなみに、谷川岳はトマの耳(1963m)、オキの耳(1977m) と呼ばれる二つの頂上からなる双耳峰として有名で、沼田市 方面から見る谷川連峰は大変美しい山並みを呈しています。

また、一ノ倉沢の岩壁は、その険しさから日本三大岩場の 一つに数えられ、ロッククライミングのメッカとなっていま すが、覆い被さるような大岩壁と残雪のコントラスト、その 雄大な眺めは一見の価値が十分にあります。



雄大な眺めの一ノ倉沢の絶壁

交通の便は関越 自動車道や上越新幹 線の利用が可能で、



(みなかみ町提供)

首都圏からのアクセスが良いため、夏休みや紅葉 シーズンは登山者などで大変賑わっています。10 月末には降雪を迎えますが、晩秋から5月の連休 までは天神平スキー場がオープンしますので、ロー プウェイが大活躍です。

昨年は、5月30日から11月16日まで谷川岳ロー プウェイ土合口駅~一ノ倉沢区間の交通規制に伴 い、みなかみ町が所有する緑や黄色のカラフルな

電気バスが、ブナ林に囲まれたさわやかな路を一 ノ倉沢出合までおよそ3.5km運行され、とても好 評でした。

今年こそーノ倉沢の雄大な眺めをご覧になるた めにこの電気バスを利用したらいかがでしょうか。

> もちろん、遊歩道も整備され緑の中 をゆっくり散策することもできます。

■■編発 FT 行 A E集所 2 総関7 事

帰りには湯檜曽、水上、谷川の各 温泉でゆっくり体を休めるのも良い のですが、当署の水上森林事務所に 隣接する足湯(無料)もなかなか落 ち着きます。



電気バス(みなかみ町提供)

22 森 31 皆様も谷川岳に是非一度足を運んで登山、スャー、血水のこのででである。 00 8 林 せんか。そして、季節ごとに姿を変える大自然を満喫されてみてはいかがで

利根沼田森林管理署

一般職員(ふれあい担当)新屋将希(元水上森林事務所勤務)